

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。利用児童の人数や状況によって活動する部屋や配置を工夫しております。	より余裕を持った活動ができるよう、部屋の使い分けなど職員同士で相談しながら、環境を整えてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までにつき2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配額以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	活動部屋は段差や障害物等なく、安全に過ごすことのできる空間となるよう整えております。2階への階段の勾配が急であるため、昇り降りの際には必ず職員が下方につき声掛けをおこなうようしております。	構造化に関しては、児童の障害に合わせた改善の余地があるので、職員同士で話し合いながら整えてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		活動後には毎日清掃・消毒をおこない、次の日に気持ちよく児童を迎え入れるよう心がけております。また、児童の発達、活動に合わせて活動空間を整えております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		状況に応じて個別の部屋が利用できるよう、柔軟な環境設定を心がけております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の打ち合わせに常勤・非常勤問わず参加し、多角的に現状を把握し、課題を抽出・検討できるよう努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的にアンケートを実施し、ご相談があった際は速やかに職員へ周知し、業務改善に活かしております。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		リフレクション会議を毎月開催し、業務や環境について意見交換をおこない改善に努めております。また年に数回、管理職員と職員との面談をおこなうことにより、意見を伝え合う機会を設けております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	事業所内研修を計画・実施し、外部研修の情報は適宜職員へ共有しております。参加後は資料等を共有し、資質向上に努めております。	法人内研修には全員が参加できております。外部研修についても、積極的に参加できる体制を整えてまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		公式Webサイトにて公表しております。	職員全員が支援プログラムの確認・実行がおこなえるよう、情報共有を徹底してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		モニタリングや面談で得た情報をもとに、児発管や療育担当の指導員・保育士が支援会議をおこない、保護者様のニーズや児童の課題に応じた最適な支援計画の作成に努めております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリングや面談等から得た児童の特性や発達状況、療育に携わる職員からの児童の様子を加味し、児童にとって最善の計画作成を目指しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全ての職員がいつでも内容を確認できるよう、計画を適切に保管し、職員間での確認を徹底しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々成長し変化する児童の適応行動を詳細に把握するため、アセスメントを活用して状況を把握するとともに、職員間で活動の様子を伝え合い状況の確認をしております。	
	16 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保護者様とのモニタリングや面談で得た情報をもとに、ガイドラインに沿った計画を作成しております。特に支援内容については、直接指導にあたる職員の意見を踏まえ、統一した支援ができるよう努めております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	管理者・児発管・児童指導員・保育士など、さまざまな立場から意見を出し合い、児童の状況や課題・季節などに応じたプログラムをチームで立案しています。	勤務時間、役割に関わらず全職員が意見を伝えやすい雰囲気となるよう努めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	自社のカリキュラムに沿うと同時に、個々の課題に合わせたアプローチを変化させながらおこなうことにより、固定化しないようにしております。	個々に合ったカリキュラムを職員間で共有し、固定化しない工夫をしております。今後も季節行事や変化のある活動を計画してまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動と集団活動を、特性や発達段階・年齢・保護者様のニーズに応じて計画的に組み込んでいます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	毎日打ち合わせをおこない、児童の様子や状況を伝え合うことにより職員全体での共通理解に努めております。また、当日の職員の動きについても、話し合いにより役割分担を決めております。	勤務状況の都合で一部の職員のみで打ち合わせをおこなう場合があるため、全職員が共通認識できる体制を整えてまいります。
関係機関や保護者との連携	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	4	2	利用児童の降所時刻に遅滞する職員が多いため、翌日の打ち合わせで振り返りや情報共有をおこなっております。気になる点に応じて児童発達支援管理責任者へ報告し、対策・改善策を話し合い、職員間で共有しております。	課題の内容によっては迅速な対応ができるよう、児童発達支援管理責任者や管理者への報告体制を整え、リフレクション会議等で改善策を協議してまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の支援内容は必ず記録に残すようにし、ケース会議や打ち合わせ時の参考とし、支援の検証・改善をおこなっております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月以内に必ずモニタリングをおこない、児童の成長や課題、保護者様からいただいた情報などを加味しながら、支援計画の見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6		「4つの基本活動」を念頭に置き、総合的な支援を日々おこなっております。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動前に本日の活動内容を示し、自ら活動を選択する力を育てるよう支援をおこなっております。また、自己選択を進める上で必要となる知識を育み活かせるよう支援をおこなっております。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議には児童の状況や、現状の課題、保護者様の思いをよく把握している児童発達支援管理責任者や療育担当者が参加しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		地域の関係機関とは積極的に連携を図り、支援体制を整えております。	
	28 下校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		送迎時に学校や学童保育所との情報共有を積極的におこない、行事や送迎時間の把握・連絡調整に努めております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を進めているか。	4	2	個人情報保護の観点から、保護者様の要望があった場合のみ、支援目標や内容等の情報を共有し、相互理解を図るようしております。	保護者様との面談等をおこなう中で、就学前に利用していた保育所等との情報共有・相互理解が必要であると判断した場合には、保護者様の理解を得たうえでおこなってまいります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		現在、学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行した利用児童はおりません。	障害福祉サービス事業所等への移行支援が必要となった場合は、保護者様の許可を得たうえで、情報の提供をおこなってまいります。
31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	地域の児童発達支援センターとは必要に応じて連絡を取り合い、助言を受けるよう努めております。	今後とも地域の児童発達支援センターとの連絡を取り合い、積極的に助言を受けるよう心がけてまいります。	
32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	地域の他のこどもの活動に関しては、現在積極的におこなっておりますが、保護者様や児童のニーズの把握に努めております。	現在は外部との交流はおこなっておりませんが、児童や保護者様から要望があった場合、今後の課題として検討してまいります。	
33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	地域連携の重要性は認識しておりますが、現在の少人数の職員体制において、利用児への直接支援や個別支援計画作成といった業務を優先した結果、定例的な会議への参加に十分な時間を確保することができませんでした。	次年度の事業計画において、地域連携の強化を重点目標の一つに設定し、協議職員を明確化した上で「自立支援」協議会・子ども部会への積極的な参加体制の確立に努めます。	
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		児童の状況についてご利用ごとにWebもしくは紙媒体の連絡帳に、詳しく記載するよう心がけております。今後は送迎の際の保護者様との会話をより丁寧におこない、共通理解のうえで支援をおこなってまいります。		
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	状況に応じて家族支援をおこない、保護者様から児童への支援方法をアドバイスさせていただいております。	今後は個別・集団での相談援助や支援を積極的におこない、保護者様の抱える不安や課題の軽減に努めてまいります。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		ご契約時やご質問があった際には丁寧な説明をおこない、職員全員を通じて全職員へ周知を図っております。	
	37 放課後等デイサービス提供を進める際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		放課後等デイサービス計画を作成する際には児童や保護者様の意思を尊重し、年ごとの面談において児童や保護者様の意向の把握に努めております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者様との面談の際には放課後等デイサービス計画に沿ってお話を進めるようにしております。説明にご納得されたうえでご印鑑をいただいております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時やご電話を受けた際には悩み事を伝えやすい雰囲気づくりを意識し、悩み事の内容に応じて適切に面談の機会を設けるなど心がけております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	感染拡大の観点より、開催を控えておりましたが、保護者様のご要望をうかがい開催を検討してまいります。	今後は状況を踏まえつつ保護者様同士やきょうだい同士の交流の機会も検討してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、こどもや保護者に周知し、苦情が体制に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご契約の際には、ご相談・ご意見をお気軽にお申し付けいただくようご案内させていただきます。また、ご相談や申し入れをいただいた場合は職員全員に周知し、対応させていただきます。今後は、そのような場があることをよりわかりやすくお伝えしてまいります。	
	42 定期的に通信等を利用することや、HPやSNS等を活用することや、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		COMPASS発達支援センターの公式Webサイトでは、自己評価表をはじめさまざまな情報公開しております。また毎月事業所だよりを発行し、児童の活動の様子をお伝えするようしております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		児童の特性や保護者様の状況に合わせて、適切な情報伝達手段を用いて意思疎通を図っております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		地域住民を招待するなどの行事は、現在積極的におこなっておりますが、保護者様や児童のニーズの把握に努めております。	保護者様や児童の意見をうかがったうえで、地域住民との交流の機会が必要に応じて検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルを策定し、室内の見やすい場所に掲示しております。定期的な発生を想定した訓練・研修会を開催しております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に火災・地震・水害・不審者・感染症を想定した避難訓練をはじめさまざまな訓練を実施しております。職員研修により、訓練意識の手順や事業所の設備、緊急連絡先の保管場所などを周知・確認しております。	
	48 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に保護者様から児童のアレルギーや対応について聞き取りをおこない、全職員間で周知を徹底しております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食物アレルギーについては事前に聞き取りをおこない、飲食を提供する際には保護者様と再度確認をおこなっております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		災害や事故発生時の研修等、安全を確保するための取り組みを全職員おこなっております。	
	51 こどもの安全確保に關して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づいた研修内容について、職員等に周知しているか。	6		災害時や事故発生時には速やかに保護者様へ連絡をおこない、発生状況や対応についてご報告させていただきますようお願いしております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6		ヒヤリハットが生じた場合には報告書を作成し、職員間で回覧・周知し、事例集として保管しております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待に関する研修を実施し、虐待防止マニュアルを作成しております。また、他の事業所や学校、家庭での虐待事例についても把握し、職員間で話し合いをおこなっております。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、身体拘束が必要な児童のご利用はありませんが、利用契約書に身体拘束の禁止を明記しております。万一、生命や身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、事前に文書にて保護者様の同意を得ることとしております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。